２０１７ＷＣ宮崎大会審判員レポート

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　佐賀県トライアスロン協会　　　大坪知恵子

１　日　程　　２０１７年１１月３日（金）～　５日（日）

　　開催地　　宮崎臨海公園、シーガイヤ周辺

２　担当部署　１１月３日（金）　　　エリート試泳監視

　　　　　　　１１月４日（土）　　　エリートトランジション

　　　　　　　１１月５日（日）　　　エイジ降車ライン

３　１１月３日の試泳

　　９：００　ミーティング

スイムチーフよりコース説明を受け、１４時から選手が試泳開始

試泳中のトラブル対処（**反省も含む**）

1. コースから外れて泳ぐ選手がいた

他部署のマーシャルが慌てて言ってきたが、自力で本コースに戻っていたので、レスキューなど要請しなかった（**我々は双眼鏡を持つべきだった）**

1. 女子選手が太腿を掻きながら浜辺に上がってきた（レースＮＯ３７）

「クラゲ」に刺されたようで、外国語で言っているので分からないが、「痛い！」との表情

２名のメディカルがやって来たが、処置が誤れば「ドーピング」になるとの事

ネットで調べ「塗り薬」ならＯＫ、水ではなくお湯で流すことが良い

暫く彼女のそばに付き、落ち着きを戻し、再度泳ぎ出したので安心した

**（試泳でもメディカルをその場に常駐させる）**

1. 監視を続けていたところ女子選手のでんぐり返しのような恰好が見え、暫く起き上がれない状態。慌てて水打ち際まで行き、腰に手を当てながら上がってきたので「大丈夫か？」の確認をしたところ「いい」と返事（レースＮＯの確認をしていない）

**（ただ監視するだけではなく役割または監視する範囲を決める。**

**１０名配置されていたが実際は何名いたか不明、他部署のマーシャルも監視をしてくれていたので助かった）**

４　１１月４日　エリートトランジション

　　６：３０　ミーティング

７：００　トランジション設営

　　　今回の担当者（ＩＴＵチーフ１名、ＳＦＴＯ２名、アシスタント３名）

　　　レースＮＯボードに間違いなく貼る、カゴの設置

　　　コース上の葉っぱ、小石撤去作業（**箒が不足で探し回る）**

８：３０　女子トランジションオープン

アンクルバンド、レースナンバー、ヘルメット着用を確認

９：３０　競技開始

乗車ライン　　違反者はいないと思ったが、ビデオで確認後１名の違反者があった

降車ライン　　目視では１名いたがＯＫ

全女子選手がランに出て、チーフが１名づつ写真撮影後バイク（ビニール袋に入れたスイム用具含む）をエイジトランジションへ運び出す。**（昨年は写真撮影はなかった）**

男子選手がトランジションに来る前に終了し、レースナンバーを貼付すること

**（スムーズに行った）**

１２：００　男子トランジションオープン

女子同様に確認するが、アンクルバンドをしてない選手が数名（それも日本選手）

１３：００　競技開始

乗車ライン　　ＯＫ

降車ライン　　ＯＫ

全男子選手がランに出、女子同様に１名づつ写真撮影後、解散

トランジションではトラブルやクレームはなかった

**（男子選手は集団で入ってくるので、見落とさないように緊張！）**

**（昨年経験していたがチーフが変わればやり方が違う）**

**（チーフとＳＦＴＯのやり取りは英語、やはり単語でもいいので勉強の必要あり）**

５　１１月５日　エイジ降車ライン

　　６：３０　ミーティング後各部署へ

　　　トランジションに来る選手のヘルメット着用（ナンバーシール貼付）、レースナンバー、アンクルバンドを確認

ナンバーシール貼付の間違いが多い！

**（説明会で聞いていないのか説明されていないのか、、、）**

**（シール１枚のみ貼付の選手の為、ガムテープにナンバーを記入し貼付）**

バイク周回折り返し、フィニッシュのコースが分かりづらい為、急遽ガムテープで

作成

**（看板はあるが１枚では足らない、次回は手前にも設置してほしい）**

**（周回は最初もらったバイクコース図では、トランジション内を通るコースになっていたが変更になっていた）（バイク担当者には配布されていた？）**

トランジション（バイク乗車ラインへ出る選手の確認・・レースナンバーの背面装着指示など）

降車ライン　チーフとの打合せ

　　　　　　ラインを越えた選手はその場で停め、注意「ストップ＆ゴー」のペナルティを科す

　　　　　　ラインを大幅に越す選手

　　　　　　シューズが外れず転倒する選手

　　　　　　「慌てないでいいですよ！」「その笑顔を最後までね！」と声を掛け

ベテラン、初心者も無事にランへ出て行った

自分の持ち場は終り、他部署へ応援（ラン周回・フィニュシュの分岐）**（ここも看板が必要）**

感じた事

１　担当部署でのコミニケーションを密に取る

２　担当部署終了の審判員の状況

　　担当部署が終わったらブラブラしている審判員も見受けられた

（エリートレースが終了後、物販店で買い物をしていた）

ミーティングが終わるまで業務だという事を念頭に審判員のレベルアップを！

３　今回、エイジ担当部署で困った事、問い合わせる事はなかった

　　トランジションチーフ、ＳＦＴＯの皆さんのお陰でスムーズな業務

　　通常エイジのトランジションなら結構審判長の判断指示を仰ぐ事がある

　　（規定外ウエットスーツ、持ち込み荷物でのトラブルなど）

４　トランジションが広く、エイジの荷物置き場（エリート選手ラウンジ用テント）が設置してあり、よかった

５　選手に声掛け（挨拶）をする

最後にＷＣ宮崎大会実行委員会、宮崎県連合、九州ブロック協議会の協力でＷＣ大会、エイジランキング大会が無事に終了し、このような素晴らしい大会に携わる事ができ、ありがとうございました。

また、佐賀県協会の配慮で派遣させていただきお礼申し上げます。